

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

(対象期間：2023年12月1日～2024年11月30日)

2025年1月16日作成



石狩産業株式会社

〒061-3377 北海道石狩市親船町111番地

TEL (0133) 62-3250 FAX (0133) 62-3357

目次

1. 会 社 概 要	3
2. 環境に関する基本方針.....	4
〈基本理念〉	4
〈方 針〉	4
3. 環境目標	5
4. 環境活動計画の内容	5
5. 実施体制	6
6. 環境目標と実績	7
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し結果.....	9
10. 産業廃棄物事業者情報公開事項	10
(1) 事業規模.....	11
(3) 廃棄物の処理料金.....	16
(4) 組織体制（部門別人員配置図、処理業講習受講状況）	16
(5) 地域融和.....	17
(6) 許認可一覧	17

1. 会 社 概 要

- 会 社 名 : 石狩産業株式会社
- 所 在 地 : 北海道石狩市親船町 111 番地
- 代 表 者 氏 名 : 代表取締役 石 山 俊 之
- 環境管理責任者 : 取締役部長 周 曉 威
- 環境管理担当者 : 係長 大 橋 純 一
- 事 業 所 : 本社 石狩市親船町 111 番地
 親船リサイクルセンター 石狩市親船 25 番地 8
 機材センター 石狩市弁天町 4 番地
 親船中間処理施設 石狩市親船町 1 9 番地 5
- 事 業 内 容 : (1)一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬・
 中間処理業、古物営業
 (2)公園・海岸等の維持管理・清掃業務
 (3)海水浴場及び駐車場ならびに市道等の草刈り業務
 (4)除排雪業務

○ 事 業 の 規 模 :

活動規模	単位	2021 年	2022 年	2023 年
処理量	t	6,295	6,414	6,402
売上高	百万円	262	265	272
従業員	人	32	32	32
床面積（本社及び親船中間処理施設）	m ²	279	279	279
敷地面積（本社）	(m ²)	285	285	285
敷地面積（親船リサイクルセンター）	(m ²)	9,695	9,695	9,695
敷地面積（機材センター）	(m ²)	10,346	10,346	10,346
敷地面積（親船中間処理施設）	(m ²)	420	420	420

※各年度は 3 月 1 日～翌年 2 月 28 日（例 2021 年は 2021 年 3 月 1 日～2022 年 2 月 28 日）
 の会計年度実績を示す。

○ 認 証 登 録

(1) 対象事業所

本社、親船リサイクルセンター、機材センター、親船中間処理施設

(2) 対象事業

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬・中間処理業、古物営業、公園・海岸
 等の維持管理・清掃業務、海水浴場及び駐車場ならびに市道等の草刈り業務、除排
 雪業務

2. 環境に関する基本方針

〈基本理念〉

石狩産業株式会社は、事業運営と地球環境の保全を両立し、住み良い北海道の地域社会を実現するために、全組織を挙げて環境改善活動に取り組みます。

〈方 針〉

石狩産業株式会社は、廃棄物の収集運搬およびそれに関するサービスの提供により発生する環境影響を低減するために、次の方針に基づき、環境改善活動を推進します。

1. 当社の活動及びサービスが関わる環境への影響を常に認識し、全事業所において環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防にも努めます。
2. 環境に関連する法的及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の活動及びサービスが関わる環境影響要因のうち、以下の項目を環境改善活動の重要テーマとして取り組みます。
 - (1) 車両燃料使用量の削減
 - (2) 灯油使用量の削減
 - (3) 電力使用量の削減
 - (4) 廃棄物のリサイクル量を向上
4. この環境に関する基本方針は、全従業員が理解し、行動できるように周知徹底するとともに、社外にも公表します。
5. 地域密着型の環境保全活動に積極的に参画します。

この環境に関する基本方針を達成するために、環境目的・目標を設定し、当社の全従業員をあげて環境改善活動を展開するとともに、定期的に見直しを実施します。

2013 年 4 月 1 日制定

2025 年 3 月 6 日改定

石狩産業株式会社
代表取締役 石山俊之

3. 環境目標

(1) 中期目標

		2023 年		中期目標		
		実績	単位	2024年	2025 年	2026 年
CO ₂		289,950	Kg-CO ₂	0%	0%	0%
投入 エネ ルギ ー等	電力	14,590	kwh	0%	0%	0%
	灯油	4,341	L	0%	0%	0%
	軽油	100,940	L	0%	0%	0%
	ガソリン	4,507	L	0%	0%	0%
水道水使用量		44	m ³	0%	0%	0%
収集運搬量		6,402	t	+1%	+2%	+3%
資源物回収量		1,975	t	+1%	+2%	+3%

※ 自社から排出される廃棄物の削減目標については、現状で排出量が非常に少ないので削減に関する目標は設定せず、分別を確実に行うことに重点を置く。

※ 基準値(2023 年度)の電力の CO₂ 排出係数は、北電の R3 年 0.549 値を使用している。

4. 環境活動計画の内容

(1) 車両燃料使用量の削減

- ・待機時間のアイドリング・ストップ
- ・急発進、急ブレーキをしない
- ・収集作業員が運転手に PTO を押すタイミングを合図する
- ・PTO の回数を削減する・空ぶかしをしない
- ・適正な回転数を維持する・定期的な車両メンテナンス
- ・エコ運転への努力を怠らない

(2) 灯油使用量の削減

- ・予備暖房への切り替えを適切なタイミングで行う
- ・予備暖房の火力を抑える

(3) 電力使用量の削減

- ・こまめにスイッチを切る
- ・電球の LED 化を進める

(4) 水道水の削減

- ・水洗タンクを節水型に変更する

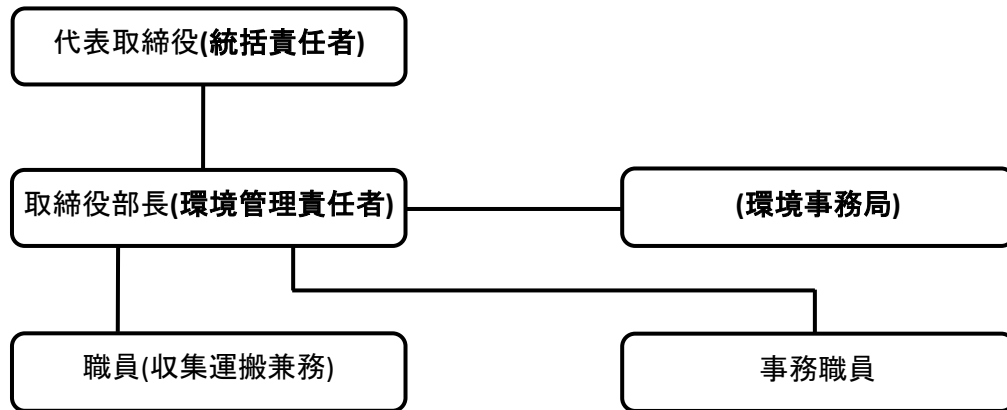
(5) 廃棄物収集運搬量の増大

- ・営業努力

(6) 資源回収量の増大

- ・当社が排出者となる廃棄物の中から有価売却品の数量を増やす

5. 実施体制



統括責任者

①環境経営に関する統括責任②環境経営システムに必要な人員、設備、費用等の手当て③環境管理責任者を任命④環境方針の策定・見直し及び従業員への周知⑤環境経営目標・環境経営計画を承認⑥実施計画・結果の全体評価と見直し⑦環境活動レポートの承認

環境管理責任者

①環境経営システムの構築、実施、管理②環境関係法規等の取りまとめ表の作成③環境経営目標・環境経営計画の確認④環境活動の取組結果を代表者に報告⑤環境活動レポートの確認⑥環境活動の従業員への周知、教育、訓練(含、緊急時対応)

環境事務局

①環境管理責任者の補佐②環境負荷のチェック及び環境への取組の自己チェックの実施③環境経営目標・環境経営計画原案の作成④環境活動の実績集計⑤環境関連法規等取りまとめ表の作成⑥環境関連とのまとめ表に基づく遵守評価の実施⑦環境関連の外部コミュニケーションの窓口、対応記録作成⑧従業員への教育・訓練記録作成⑨緊急事態対応のための手順書作成及び運用管理及び運用管理、発生時記録作成⑩問題点の発見、是正、予防処置の実施⑪環境活動レポートの作成、公開

6. 環境目標と実績

○ 2023 年度の実績

基準値（2023 年度）					2023 年 12 月～2024 年 11 月の実績						
環境目標項目				数値(12 月～11 月)		単位	目標率	実績	実数差	増減率	
維持	CO ₂ 排出量			289,950		kg-co ₂	0%	266,408	-23,542	-8.1%	
	エネルギー投入	購入電力		14,590		KWh	0%	13,494	-1,096	-7.5%	
		化石燃料	灯油		4,341		L	0%	4,159	-182	-4.2%
			軽油		100,940		L	0%	93,333	-7,607	-7.5%
			ガソリン		4,507		L	0%	3,256	-1,251	-27.8%
		水道水の使用量			44		m ³	0%	50	6	13.6%
	増	廃棄物収集量			6,402		t	+1%	6,210	-192	-3.0%
大	資源物回収量			1,975		t	+1%	1,870	-105	-5.3%	

※ 基準値(2023 年度)の電力の CO₂ 排出係数は、北電の R5 年 0.549 値を使用している。

※ 2024 年度の電力の CO₂ 排出係数も、北電の R5 年 0.549 値を使用した。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

① 評価

- (1) 廃棄物収集量は基準年比 3.0%の減少である。廃棄物の種類別に集計すると、家庭系一般廃棄物が 58 t、専ら物が 31t の増加であるが、産業廃棄物が 220 t、事業系一般廃棄物が 31t の減少となっている。特に産業廃棄物は建築資材等高騰により建設関係の施工が大幅に減少したことが影響している。それに伴い資源物回収量も影響を受け 5.3%の減少と揮わなかった。廃棄物収集量そのものは社会的要因が大きいと考えているが、資源物回収量に重点を置いていただけないに努力が報われず残念な結果である。
- (2) CO₂ 排出量は、上記のとおり基準年より 8.1%減少した。CO₂ 増減に大きく影響を及ぼしたのは軽油と購入電力である。
 - ・一部の作業場所における暖房を灯油から購入電力に切り替えたことにより、昨年度は購入電力が一時的に増加したが、夜間照明の削減等の節電活動や、本社での照明を全て LED 化し契約電力引き下げことが実を結び減少に転じることが実現できた。
 - ・軽油の 7.5%減少は、産業廃棄物の収集運搬量が減少したことにより貨物車の稼働率が悪くなったこと主要因となっており、素直には喜べない状況である。
 - ・ガソリンは、営業車両の絞り込みによる効果と判断した。
- (3) 水道水は、絶対量が例年通り非常に少ないが、6 m³ほど増加している要因は、男子トイレの便器の故障により修理が行われ、その際の流量設定により増加。その後クレームを入れ設定の見直しをして貰い従来とほぼ同量となっている。

② 次年度目標及び取組内容

- (1) 取組内容は現状のまま変更しない。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に必要な環境関連法規は、次のとおりで2024年12月1日確認をしたので適切と評価している。

遵守法律名	主な内容	確認状況
廃棄物処理法	営業許可、保管・処理基準、契約書、管理票交付・受理	遵守確認
資源有効利用促進法	パソコンの発生時にリサイクル	該当なし
家電リサイクル法	テレビ等発生時にリサイクル	該当なし
自動車リサイクル法	車両廃棄時にリサイクル	該当なし
フロン排出抑制法	使用時におけるフロン類の漏えい防止	遵守確認
労働安全衛生法	フォークリフト運転資格	遵守確認
消防法	灯油タンクの材質、強度、保管場所→消防署の点検	遵守確認
道路交通法	安全運転管理者の設置、過積載の禁止	遵守確認
道路運送車両法	排気ガス基準→車検で確認	遵守確認
水質汚濁防止法	公共用水域の水質の汚濁の防止	遵守確認
北海道循環型社会形成条例	委託処理場の視察と記録	遵守確認

(2) 自社営業に係る廃棄物処理法は、過去3年間関係当局から違反の指摘がなく訴訟の事実もありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し結果

事業の性格上排出企業に依存することが多いため、単純に環境負荷の増減を評価できないが、収集運搬量を加味した原単位評価も考慮している。

(1) 環境方針

変更しない。

(2) 環境目標

変更しない。

(3) 環境活動計画

特に改変を要しない。

(4) 実施体制(システム)

指導員を教育して充実を図る

10. 産業廃棄物事業者情報公開事項

○ 会 社 役 員 : 代表取締役 石山 俊之

平成 11 年 4 月 30 日取締役就任

平成 22 年 5 月 07 日代表取締役就任

取締役 周 曉威

平成 30 年 4 月 27 日就任

取締役 顧 玲玲

令和 6 年 11 月 13 日就任

監査役 土肥 繁義

平成 28 年 4 月 20 日就任

○ 資 本 金 : 20,000 千円

○ 売 上 高 : 276,000 千円

○ 従 業 員 数 : 37 名

○ 敷 地 面 積 : 21,120 m²

○ 延 床 面 積 : 279 m²

○ 沿 革 :

昭和 61 年 6 月 会社設立

昭和 61 年 6 月 機材センター開設

昭和 63 年 6 月 産業廃棄物収集運搬業許可取得(北海道)

平成 5 年 5 月 資本金 1,000 万円に増資

平成 9 年～10 年 一般収集運搬業許可取得(札幌市・石狩市)

平成 12 年～14 年 一廃・産廃積替保管施設許可取得(石狩市・北海道)

平成 14 年 12 月 親船リサイクルセンター開設

平成 15 年 4 月 資本金 2,000 万円に増資

平成 15 年 11 月 本社社屋落成

平成 17 年 3 月 古物商許可取得

平成 21 年 6 月 親船中間処理施設開設

平成 21 年 6 月 産業廃棄物処分業許可取得(北海道)

平成 21 年 7 月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得(北海道)

令和元年 6 月 北海道より優良産廃処理事業者として認定

令和 5 年 6 月 (公社)北海道産業資源循環協会より優良事業所表彰を授与

令和 6 年 6 月 全国産業資源循環連合会より地方優良事業所表彰を授与

(1) 事業規模

① 収集運搬業

・ 運搬車両の種類と台数

塵芥車	12 台	ユニック車	2 台
貨物車	2 台	軽貨物車	2 台
ダンプ	3 台		

・ 積替保管施設

一般廃棄物 2,100 m²

可燃ごみ、不燃ごみ、不可燃ごみ、粗大ごみ、
混合ごみ、資源物、リサイクル物

産業廃棄物

施設の種類	面積	種類	保管上限
保管場所 1	8.86 m ²	汚泥	3.60 m ³
保管場所 2	13.04 m ²	動植物性残渣	15.53 m ³
保管場所 3	6.84 m ²	紙くず	7.79 m ³
保管場所 4	11.07 m ²	繊維くず	11.65 m ³
保管場所 5	22.09 m ²	廃プラスチック類	34.14 m ³
保管場所 6	60.00 m ²	金属くず	38.68 m ³
保管場所 7	60.00 m ²	混合物	38.68 m ³
保管場所 8	84.00 m ²	混合物	59.20 m ³
保管場所 9	100.00 m ²	廃プラスチック類	83.33 m ³
保管場所 10	24.10 m ²	廃プラスチック類	16.98 m ³
保管場所 11	24.10 m ²	混合物	16.98 m ³
保管場所 12	12.05 m ²	金属くず	5.72 m ³
保管場所 13	5.78 m ²	燃え殻	2.0 m ³
保管場所 14	1.75 m ²	ゴムくず	0.60 m ³
保管場所 15	27.5 m ²	廃油	5.00 m ³
保管場所 16	54.00 m ²	木くず	29.88 m ³
保管場所 17	8.02 m ²	ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず	3.56 m ³
保管場所 18	1.84 m ²	廃蛍光管・水銀灯	3.38 m ³
保管場所 19	12.05 m ²	混合物	8.56 m ³

(1) 一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬・中間処理(圧縮)業、古物営業に関する実績

・2024 年度収集運搬の実績

単位：t

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
家系	215.88	222.26	193.56	199.99	216.87	306.73	291.94	288.82	302.77	271.86	407.14	238.50	3156.32
事系	197.48	140.86	133.87	140.95	167.50	157.05	152.17	175.51	159.37	166.16	172.64	194.24	1957.8
産廃	64.25	22.68	47.81	36.53	22.44	44.66	33.74	25.06	27.28	49.34	58.96	59.07	491.82
専ら	53.75	46.33	42.75	49.63	49.44	54.68	46.29	52.76	50.60	49.56	50.11	55.67	601.57
家電	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	0.41	0.27	0.00	0.00	0.64	0.00	2.52
合計	531.58	432.13	417.99	427.10	456.25	564.10	524.55	542.42	540.02	536.92	689.49	547.48	6210.03

※ 家系→家庭系一廃、事系→事業系一廃、専ら→紙・繊維・瓶・金属くず

(参考)・2023 年度収集運搬の実績

単位：t

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
家系	233.95	227.67	179.09	217.87	202.18	275.98	270.77	328.85	294.87	270.24	331.95	264.97	3,098.39
事系	238.38	133.63	126.15	152.60	145.72	160.33	160.13	163.23	168.35	197.78	192.51	181.19	2020.00
産廃	80.32	34.05	31.39	67.68	78.84	72.04	57.75	79.31	52.09	40.25	52.44	65.78	711.94
専ら	49.82	42.50	38.30	42.83	44.95	51.11	52.23	49.39	49.02	50.58	51.95	47.86	570.54
家電	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.56	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.64	1.46
合計	602.47	437.85	374.93	481.10	471.69	559.46	540.88	620.78	564.47	558.85	628.85	560.44	6,402.32

※ 家系→家庭系一廃、事系→事業系一廃、専ら→紙・繊維・瓶・金属くず

・2024 年度収集運搬の実績(産廃の内訳)

単位：t

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
汚泥	0.52	0.22	0.00	0.56	0.00	0.53	0.00	0.00	0.46	0.48	1.39	6.47	10.63
廃油	3.60	1.67	1.36	2.24	2.07	1.70	1.88	2.27	1.62	2.14	1.95	1.90	24.40
廃プラスチック類	13.29	8.96	29.45	13.18	13.22	23.67	16.32	12.00	12.27	17.89	18.57	27.91	206.72
金属くず	6.36	0.00	0.28	2.75	0.36	2.22	0.58	1.07	1.86	1.10	0.42	1.62	18.63
ガラ陶	13.52	3.57	2.81	2.00	1.34	3.02	5.81	0.81	4.12	3.25	10.71	2.98	53.94
がれき類	3.55	0.00	0.00	0.00	4.72	1.15	0.74	0.00	0.00	2.50	8.67	1.16	22.49
紙くず	6.25	3.64	2.17	1.41	0.73	0.26	1.09	2.01	2.88	2.83	3.74	2.60	29.61
木くず	2.36	1.81	1.42	3.04	0.00	4.79	1.38	2.83	2.99	3.98	8.34	4.41	37.35
動植物性残さ	14.36	2.81	10.29	11.13	0.00	6.13	5.45	3.70	1.07	15.17	4.95	7.23	82.29
混合廃棄物	0.44	0.00	0.03	0.21	0.00	1.19	0.49	0.38	0.01	0.01	0.22	2.79	5.76
合計	64.25	22.68	47.81	36.53	22.44	44.66	33.74	25.06	27.28	49.34	58.96	59.07	491.82

※ ガラ陶：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

※ 混合廃棄物には廃家電が含まれる。

・(参考) 2023 年度収集運搬の実績(産廃の内訳)

単位：t

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
汚泥	0.15	0.20	0.32	0.20	0.47	1.11	0.00	0.00	0.33	0.00	0.29	0.48	3.55
廃油	2.94	1.67	1.37	2.40	2.05	3.66	1.62	2.71	1.69	1.92	2.82	2.76	27.61
廃プラスチック類	21.43	4.33	8.13	35.99	13.77	10.44	11.57	11.40	13.78	13.12	11.51	21.35	176.82
金属くず	4.20	2.84	1.88	2.96	5.34	10.44	7.38	2.96	4.82	3.28	3.36	1.68	51.14
ガラ陶	12.34	7.61	6.07	5.39	22.63	12.61	18.32	13.99	8.16	8.23	12.16	5.60	133.11
がれき類	7.10	0.65	0.00	0.00	3.76	0.00	0.00	5.63	4.46	0.00	0.00	3.79	25.39
紙くず	6.64	8.23	6.72	6.31	8.04	10.82	10.17	8.77	6.89	6.40	6.70	5.09	90.78
木くず	12.45	3.86	1.86	4.40	10.65	10.38	3.28	10.45	4.67	5.01	4.69	9.22	80.92
動植物性残さ	7.69	4.65	5.04	9.03	9.11	12.33	5.13	22.25	7.04	2.25	10.87	14.81	110.20
混合廃棄物	5.38	0.01	0.00	1.00	3.02	0.25	0.28	1.15	0.25	0.04	0.04	1.00	12.42
合計	80.32	34.05	31.39	67.68	78.84	72.04	57.75	79.31	52.09	40.25	52.44	65.78	711.94

※ ガラ陶：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

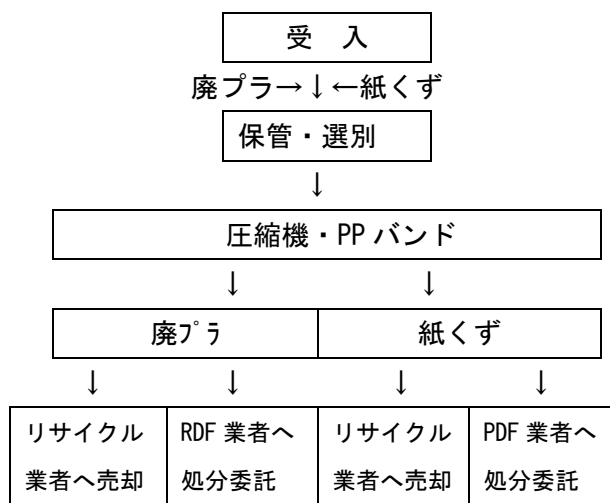
※ 混合廃棄物には廃家電が含まれる。

② 処分(中間処理)業

・処理施設

施設の種類	廃プラスチック類、紙くずの圧縮施設		
処理能力	廃プラスチック類	4. 20t/日 (8 時間)	0. 425t/時間
	紙くず	3. 42t/日 (8 時間)	0. 525t/時間
処理方式	圧縮		

・中間(圧縮)フロー図



・2024 年度処理実績

	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	計
紙	6.25	3.64	2.17	1.41	0.73	0.26	1.09	2.01	2.88	2.83	3.74	2.6	29.61
廃プラ	9.91	5.94	7.52	6.16	4.21	5.97	11.02	5.91	6.95	9.37	6.88	7.57	87.41
合計	16.16	9.58	9.69	7.57	4.94	6.23	12.11	7.92	9.83	12.20	10.62	10.17	117.02

- i 廃棄物の受託量 117.02 t
- ii 廃棄物処理(圧縮)量 117.02 t
- iii 圧縮後の再資源化委託量 117.02 t

(2) 公園・海岸等の維持管理業務及び清掃業務に関する実績

今年度は、海岸線、港湾地域、石狩川周辺の緑地帯等について、ごみ収集、トイレ清掃、施設の補修など5件の事業を受託し実施した。

(3) 海水浴場及び駐車場ならびに市道等の草刈り業務

1) 2024年度は昨年に引き続き海水浴場が開かれ、駐車場の設営や看板等の設置も従来通りに行った。

2) 市道及びその周辺について草刈り、樹木の伐採等の作業を行った。

以上の範囲について述べ3件の事業を受託し実施した。

(4) 除排雪に関する業務

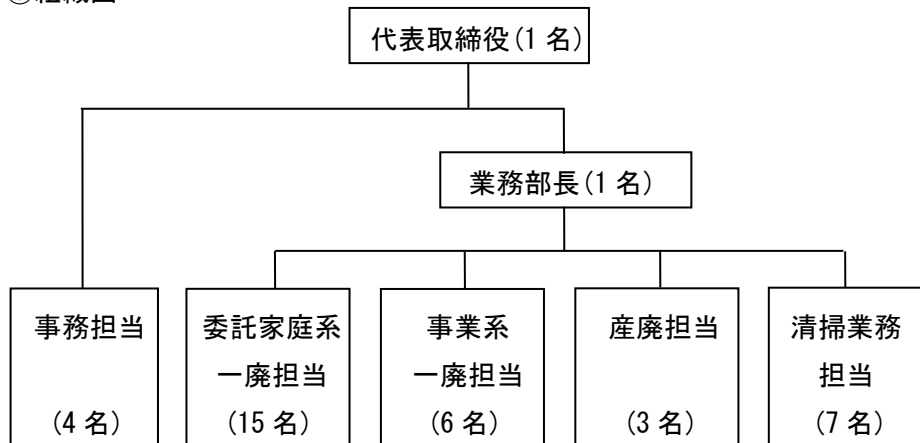
今年度は、人手不足の背景から29件の受託で、公共施設の駐車場、民間住宅の玄関先などについて、10cm以上の降雪があった延べ32回の除排雪を実施した。

(3) 廃棄物の処理料金

- ・ 運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、その都度見積りを行う。

(4) 組織体制（部門別人員配置図、処理業講習受講状況）

①組織図



②特別産業廃棄物収集運搬業に関する受講

平成 30 年 11 月 16 日	第 318121021 号	新規
平成 22 年 9 月 17 日	第 310140010 号	新規

③産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業に関する受講

2024 年 12 月 4 日	第 B05240134068 号	更新
-----------------	------------------	----

④産業廃棄物処分業に関する受講

平成 30 年 9 月 13 日	第 218104009 号	新規
平成 22 年 5 月 21 日	第 210111091 号	新規

⑤産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処分業に関する受講

2024 年 12 月 4 日	第 B06240218068 号	更新
-----------------	------------------	----

(5) 地域融和

- ・ 当社の施設は、利害関係者に対し公開するので、事前にご連絡してください。

(6) 許認可一覧

許可証	内容	有効期限	自治体名
一般廃棄物収集運搬業 許可番号 : 石ごみ許可第 3 号 許可年月日 : 令和 6 年 3 月 7 日	・ 一般廃棄物 ・ 積替保管あり	令和 8 年 3 月 31 日	石狩市
札幌市一般廃棄物収集運搬業 許可番号 : 札幌一般廃根許可第 140 号 許可年月日 : 令和 5 年 8 月 20 日	・ 伐採物・抜根等	令和 7 年 8 月 19 日	札幌市
産業廃棄物収集運搬業(優良) 許可番号 : 第 00110020424 号 許可年月日 : 令和元年 6 月 16 日	・ 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有廃棄物を含む。)。積替保管あり。	令和 8 年 6 月 15 日	北海道
特別管理産業廃棄物収集運搬業(優良) 許可番号 : 第 00150020424 号 許可年月日 : 令和元年 7 月 1 日	・ 廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類。)、廃酸(pH2.0 以下のもの。)、廃アルカリ(pH12.5 以上のもの。)、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物(廃石綿等)。積替保管なし	令和 8 年 6 月 30 日	北海道
産業廃棄物処分業(優良) 許可番号 : 第 00120020424 号 許可年月日 : 令和元年 6 月 6 日	・ 圧縮(廃プラスチック類、紙くず。)	令和 8 年 6 月 5 日	北海道
古物商 許可番号 : 第 101280000925 号 交付年月日 : 平成 17 年 3 月 14 日	行商する		北海道公安委員会